

平野ヶ丘

祝 交通安全こども自転車全国大会出場

校長 高橋 光弘

夏休みが終わり、8月28日には子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。今年の夏は、例年以上に猛暑が続きました。さらに、九州地方は台風による甚大な被害も出ました。こうした中ではありましたが、一回りたくましくなった子どもたちと再出発することができたことを大変ありがたく思っています。

さて、今回の学校報では、『第55回交通安全こども自転車全国大会』についてお伝えしたいと思います。本大会については、前回の学校報でお伝えしましたが、本校の代表は、7月26日に開催された岐阜県選考会に出場しました。そして、見事優勝することができ、8月9日の全国大会に出場することができました。私は引率責任者として、子どもたちや保護者の皆さん、そして交通安全協会の方々と会場である東京ビックサイトに行きました。

このことは新聞でも紹介されていたのでご存じの方もきっとたくさんみえることと思います。養正校区に元気を届けることができたのではないかとうれしく思っています。今回は、全国大会出場という結果に至るまでの子どもたちの素晴らしさについて2つお伝えしたいと思います。



【全国大会出場を市長さんに報告】

その1 目標を達成するために頑張ることを決めて自ら取り組む実行力

子どもたちは、「県大会で優勝して全国大会に出場する。」という目標をもちました。素晴らしいのは、目標を達成するために何を頑張るのかを主体的に考えて努力したことです。交通ルールに関する筆記試験の勉強では、テキストがポロポロになるまで（少し大げさですが）何度も繰り返し取り組みました。そして、技能試験の練習も苦手な操作を何度も何度も繰り返し取り組みました。指導をしてくださった交通安全協会の方からは、「練習について指示を出したり、注意したりしたことはありません。いつも自分たちで考えて一生懸命に取り組んでいました。本当に素晴らしいと思いました。」という話を聞きました。

その2 支えてくださった方への感謝の気持ちを伝える心

全国大会の閉会式後のことです。私は、子どもたちに「練習でお世話になった交通安全協会の方にお礼を言えるといいね。」と伝えました。すると、驚いたことに、子どもたちはお礼の気持ちを書いた色紙を交通安全協会の方や警察の方に渡し始めたのです。そして、「校長先生にもあります。」と言って手渡してくれました。そこには、「先生方が練習を見に来てくださったおかげで全国まで来ることができました。ありがとうございます。」と書いてありました。私は、子どもたちの心に感動し、「こちらこそ全国大会に連れてきてくれてありがとう。」と伝えました。

夏休み作品展に寄せて

夏休み明けの28日のことです。普段通りに全学級の様子を見に行きました。すると、どの教室も夏休みに取り組んだ自由研究や作品の紹介をしていました。「お家の人と一緒に作ったの?」と聞くと、うれしそうな表情で「そうだよ。」と答えてくれる子がたくさんいました。バラエティ豊かな作品を目にしながらいよいよ気持ちになりました。子どもたちの思い出が詰まった夏休み作品展には、多数の方々に来ていただきました。ありがとうございます。